



国際グループ 国際共創会議

魅力ある運動を世界へ 普及する推進計画

Action! sheet

<運動の背景・目的>

① 実施背景

各国が掲げる理想を実現するためには、世界的な運動構 築能力の開発が必要であり、積み上げた国際的な信頼 関係をもとに、国際社会と共に未来を創る必要がある。

② 実施目的

日本で創られた魅力ある運動の世界普及を通じて、各国 の運動構築能力を開発し、運動を加速させることで、各国 の未来が明るくなることを目的とする。

く運動推進のステップ>

理想とする未来

日本の魅力ある運動で、世界中の社会開発運動の 推進に貢献し続け、日本JCが未来を創る中心的存在と してあり続ける未来。

> 01 発掘 フェーズ

・世界中の社会開発 運動に向けて適切 な日本の事業を発 掘を行う。

02

普及 フェーズ

- 発掘フェーズで取 りあげた事業を各 国に参画してもら う。
- 各国の課題毎に 事業をカスタマイ ズする。

く実施スケジュール>

10月~	世界会議にて各国への事業趣旨、会議実施の承諾
1月~	京都会議にて各国との現地交流
4月~	グローバルユース事業参画国確定
5月~	BOSAI事業事業参画国確定
7~8月	グローバルユース・BOSAI事業開催
9月~	報告
11月~	世界会議にて発信

発信 フェーズ

03

- JCの各大会等で 成果及びパッケー ジした事業の発信 を行う。
- ・事業の普及だけで なく、参画してもら う各国からフィード バックをもらう。

事業定着 フェーズ

04

- カスタマイズした日 本の魅力ある事業 を広報推進する。
- 本年度だけなく、 各国に次年度以 降の参画・開催の 約束を取りつける。
- 各国に次年度の 予定者と協議し、 自国での円滑な開 催を取りつける。

必 要 応 ٢

動

実

行

<パートナー、アドバイザー>

各国国際事業担当メンバー

特定のアドバイザーではなく、各国の国際事業担当 メンバーをパートナーに事業を展開している。

<サマーコンファレンスまでの成果>

① 運動としての成果

グローバルユース…5ヶ国以上の次年度開催確約。 BOSAI事業…3ヶ国以上の次年度開催確約。

② 地域の変化(各国)

日本JCの魅力ある運動により、自らが各国・地域の社会 開発を行える状態を創造する。

Gian Pocket

誰でも地域に合った運動の構築ができる! 運動の推進議案をチェック!





ACTION!

どうしたらいいか分からない!を解決する 相談・サポートの申し込みはこちらから! 日本JC の会議委員会が、2026年に向け ての運動構築方法をサポート!



連絡先: 国際共創会議 伊藤 英佑

TEL: 080-6016-7909

MAIL: e.ito@morika-bm.com

て 軌 道 修

正